

第七回日中哲学フォーラム
世界哲学において東アジアが果たす役割

主催：中国社会科学院哲学研究所、日本哲学会
共催：中華日本哲学会、東北大学大学院文学研究科、学術変革領域 A.
「尊厳学の確立：尊厳概念に基づく社会統合の学際的パラダイムの構築に向けて」

2023年9月11日-12日 東北大学川内北キャンパス
A棟102、101、105教室、B棟1F 談話室（控室）

9月11日（月）

9:30-9:45	開幕式 A棟102教室 (通訳を入れて5分間ずつ)	司会者	挨拶： 日本哲学会会長挨拶：納富信留 中国社会科学院哲学研究所所長挨拶：張志強（video）
9:45-10:00	写真撮影		
10:00-10:45	基調講演 102 教室 (講演30分間、通訳を入れてコメント15分間、以下同様)	司会者：	一ノ瀬正樹（武蔵野大学）：不在因果と責任帰属をめぐって コメント：馬寅卯
10:45-11:30	基調講演		王齊（中国社会科学院哲学研究所研究員）：The Myth of Universalism and the Way Out コメント：上原麻有子
11:30-12:15	基調講演		中島隆博（東京大学）：近現代日本における女性哲学者の系譜学 コメント：王青
12:15-12:45	討 論		
12:45-13:45	昼 食		
13:45-17:50	分科会	【第一分科会】102 教室（ハイブリッド） 【第二分科会】101 教室 【若手分科会】105 教室	
18:30-	夕食会（レセプション・パーティ）	鍾景闊（バスで移動）	

【第一分科会】 13:45-18:00 102 教室 (ハイブリッド)

(司会) :

(発表 20 分間, 通訳を入れてコメント 15 分間)

13:45-14:20	出口康夫	英語	We-turns: A Way of World Philosophy コメント :
14:20-14:55	呉光輝	日本語	西田幾多郎における「東洋」の理解(online) コメント :
14:55-15:30	中嶋優太	英語	Nishida's References to Eastern Philosophy in New Materials Contemporaneous with the Publication of An Inquiry into the Good コメント :
15:30-16:00	討 論		
16:00-16:10	休 憩		
16:10-16:45	Lorenzo Marinucci	英語	Scenes of Scent: Lingering aromas in Kuki and Baudelaire(online) コメント :
16:45-17:20	小手川正二郎	英語	Phenomenology of Race: From an East Asian Perspective(online) コメント :
17:20-17:50	討 論		

【第二分科会】 13:45-18:00 101 教室

(司会) :

(発表 20 分間, 通訳を入れてコメント 15 分間)

13:45-14:20	王青	日本語	中国と日本の近代初期における「哲学」の撰取の仕方について
14:20-14:55	加藤泰史	日本語	世界哲学/世界哲学史構想の諸問題(On the Concept of World Philosophy/History of World Philosophy) コメント :
14:55-15:30	真田萌依	英語	The Possibility of Considering Sexuality Issues from the Viewpoint of Japanese Philosophy—Space, Body and Life in NISHIDA Kitarō コメント :
15:30-16:00	討 論		
16:00-16:10	休 憩		
16:10-16:45	賈光佐	英語	The Philology of Dokuryū Shōeki and Its Influence on Early Modern Japanese Sinology コメント :
16:45-17:20	陳霞	英語	Ancient wisdom for Contemporary Problems: Daoism and the Building of an Ecological Civilization コメント :
17:20-17:50	討 論		

【第三分科会】 13:45-18:00 105 教室

(司会) :

(発表 20 分間, コメント 15 分間)

13:45-14:20	黄璐	英語	The Phenomenological Significance of Necessity: Interpreting the Experience of Necessity in Kuki Shuzo コメント :
14:20-14:55	Ryan Fleming	英語	Philosophy as Allegory - A Preliminary Study of Chen Xianwei (陳顯微)' s Commentary on the Guanyinzi (關尹子) コメント :
14:55-15:30	石川茉耶	英語	Feminist Aesthetics and Asia コメント :
15:30-16:00	討 論		
16:00-16:10	休 憩		
16:10-16:45	直江清隆	英語	Bridging Asian spirit with Western learning: Saigusa Hiroto's naturalistic Philosophy of Technology コメント :
16:45-17:20	周丹	英語	The Communication between Philosophical Research and the Philosophical Circle in Japan: Taking Liu Ben as the Representative コメント :
17:20-17:50	討 論		

9月12日(火)

10:00-10:45	基調講演 102 教室 (講演 30 分間, 通訳を入れてコメント 15 分間、以下同様)	司会者 :	林美茂 (中国人民大学哲学院教授) : 二重他者に直面した「日本哲学」の初期模索: 井上哲次郎の矛盾と論理の自己一貫性を糸口として(online) コメント: 城戸淳
10:45-11:30	基調講演		納富信留 (東京大学) : 世界哲学における東アジアの哲学 コメント: 王齊
11:30-12:00	討 論		
12:00-13:00	昼 食		
13:00-17:20	分科会	【第一分科会】 102 教室 (ハイブリッド) 【第二分科会】 101 教室 【若手分科会】 105 教室	

【第一分科会】 102 教室

(司会) :

(発表 20 分間, 通訳を入れてコメント 15 分間)

13:00-13:35	上原麻有子	英語	Japanese Philosophy of the Relationality in Times of Crisis コメント:
13:35-14:10	韓立新	日本語	「人間の二元論」とその解消: フォイエルバッハ、シュティルナーからマルクスまで(online) コメント:
14:10-14:45	佐野寛明	英語	Hiromatsu Wataru and Karl Marx: Systematic Criticism or Critical System- コメント:
14:45-15:15	討 論		
15:15-15:30	休 憩		
15:30-16:05	趙森	英語	The Introduction and Reinterpretation of Hupokeimenon and Chora in Nishida's Philosophy(online) コメント:
16:05-16:40	鄧定	英語	Discoveredness, Primordial Strife and Mystery: On Heidegger's Concept of Truth and Laotzu's Tao Te Ching(online) コメント:
16:40-17:20	討 論		

【第二分科会】 101 教室

(司会) :

(発表 20 分間, 通訳を入れてコメント 15 分間)

13:00- 13:35	河野哲也	英語	If philosophy is language relative, what does that mean?
13:35- 14:10	廖欽彬	日本語	東アジア哲学が成り立つ可能性をめぐって コメント :
14:10- 14:45	馬寅卯	英語	East Asian Philosophy and Intercultural Philosophy コメント :
14:45- 15:15	討 論		
15:15- 15:30	休 憩		
15:30- 16:05	詹文杰	英語	Cunzai(存在) or Shi(である): The Impossibility of Translating "To Be" into Chinese? コメント :
16:05- 16:40	城戸淳	英語	Antimetaphysics of Japanese Philosophy: Kant's Transcendental Idealism and Tetsujiro Inoue's "Theory of Phenomena as Reality" コメント :
16:40- 17:20	討論		

【第三分科会】 13:45-18:00 105 教室

(司会) :

(発表 20 分間, コメント 15 分間)

13:00- 13:35	胡 婧	日本語	熊十力の本体論における〈進化〉の概念—ベルクソン哲学のエラン・ヴィタールの概念を対照に— コメント :
13:35- 14:10	魏偉	日本語	自然的秩序観への二つの批判 : 丸山眞男と三木清の政治論 コメント :
14:10- 14:45	古賀高雄	英語	Can a "Human-Technology Association" be Extended on a Cosmic Scale?: An Implication of Nishida's Philosophy for Postphenomenology コメント :
14:45- 15:15	討 論		

○Wi-fi について

- ・会場では eduroam が使えますので、あらかじめアカウントをご用意の上、そちらをお使い下さい。

○プレゼンテーションについて

- ・各会場にはPCが備え付けてあります。安定性のためにも、データをUSBメモリで持ち込むなどして、なるべく備え付けのPCをお使い下さい。

○発表資料について

- ・まとめた pdf を所定の場所に用意します。また、事前配布します。
(https://drive.google.com/drive/u/3/folders/1uHWuRrTxLZkK1DF_yZPIbSAmAYHLeA9h)
- ・予稿冊子はありませんが、印刷した資料も会場に用意します。

○オンライン参加について

- ・オンラインで参加する人は以下の Zoom にアクセスしてください。
<https://zoom.us/j/9134946232?pwd=Y1NzT3pLWEJUNnpUa1M5SkdUaVVzdz09>
(ミーティング ID: 913 494 6232 パスワード: 585063)
- ・対面での参加者は Zoom へのアクセスは極力控えてください。(回線にゆとりを持たせ、障害防止と速度向上を図るためです)
- ・オンライン発表者は画面共有を利用して下さい。会場参加者はプレゼンテーション用 PC からそのままスライド等を写して、ご発表下さい。
文字がどうしても小さくなるため、発表資料の pdf を併用することをお勧めします。

参加報告者リスト

(中国)

張志強	中国社会科学院哲学研究所所長・研究員、中国社会科学院大学教授
林美茂	中国人民大学哲学院教授、中華日本哲学会前会長
王齊	中国社会科学院哲学研究所研究員、中国社会科学院大学教授
陳霞	中国社会科学院哲学研究所研究員、中国社会科学院大学教授
詹文杰	中国社会科学院哲学研究所研究員、中国社会科学院大学教授
馬寅卯	中国社会科学院哲学研究所研究員、中国社会科学院大学教授
周丹	中国社会科学院哲学研究所研究員、中国社会科学院大学教授
王青	中国社会科学院哲学研究所研究員、中国社会科学院大学教授
吳光輝	厦門大学外国語学院教授
韓立新	清華大学人文学院教授
廖欽彬	中山大学哲学院教授
魏偉	中国社会科学院哲学研究所助理研究員、中国社会科学院大学講師
鄧定	中国社会科学院哲学研究所助理研究員、中国社会科学院大学講師
趙森	四川行政学院講師

(日本)

一ノ瀬正樹	武蔵野大学人間科学部教授、日本哲学会前会長
納富信留	東京大学大学院人文社会系研究科教授。日本哲学会会長
中島隆博	東京大学東洋文化研究所教授
直江清隆	東北大学大学院文学研究科教授
上原麻有子	京都大学大学院文学研究科教授
河野哲也	立教大学文学部教授
出口康夫	京都大学大学院文学研究科教授
中嶋優太	石川県立看護大学人間科学領域人文科学系群講師
Lorenzo Marinucci	東北大学大学院文学研究科准教授
加藤泰史	椋山女学園大学教授、日本哲学会元会長
小手川正二郎	國學院大學文学部准教授
城戸 淳	東北大学大学院文学研究科教授
古賀高雄	東北大学知の創出センター特任助教
笠松和也	日本学術振興会特別研究員 PD (九州大学大学院人文科学研究院)
真田萌依	京都大学文学研究科 博士課程
佐野寛明	京都大学文学研究科 博士課程
Ryan Fleming	The University of Hawai'i at Mānoa & Rikkyo University
胡 婧	上智大学大学院文学研究科哲学専攻特別研究員 (PD)
黄 璐	東北大学文学研究科日本思想史研究室 専門研究員
賈光佐	東北大学文学研究科日本思想史研究室 博士課程 2 年
石川茉莉	早稲田大学大学院文学研究科 博士課程 3 年